

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	3	活動時には広くスペースを確保するため、片づけをして確保している。	多機能型の為、学校休校日の際は人数によっては十分な確保が難しいときも見られるため、今後も改善に努めていく。
	2	職員の配置数は適切である	3	3		支援の幅も少しずつ広がってきている為、今後も継続できるように努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3		配慮に努めるも充分でない部分もある。今後も児童の安全面を考えていながら改善を行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	定期的な会議を実施し業務の見直し、改善に努めている。	気になる部分があった際はすぐに職員間で話をし、いき早急な改善の方向に進むよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	職員間で情報共有を行っている。	御家族様から頂いたことには職員に通達していき情報共有をしながら改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	ホームページにて評価を公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6		現在、第三者による評価を実施できていない為、検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	4		外部研修の機会の確保が少なかった為、機会を多くして行ける様にしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	契約、計画書の更新時等、御家族様からニーズを聞き取りをしている。	将来に向けてのことを本人と話をしながら、計画作成にもあっている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	職員間で意見を出して支援内容を検討している。	活動をしたものには評価をして今後の活動に活かしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	3		支援の幅を今後も広げて行ける様に意見交換をしながら行っていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3		設定をするも細かく実施できていない時もある為、連携をしながら改善に努めていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	個別支援会議を実施し職員間で意見交換、情報共有を行い作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	食事介助、リズム記入者等、その日の役割分担を職員全員が把握できるようにしている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	終礼時に振り返りを行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	リズム、支援記録を活用し改善に努めている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	半年に一回を基本に見直しをしている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6	0		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	学校送迎時に先生との情報共有を行ったり、学校からの電話、メールを確認して対応している。	頂いた連絡に関して早急に対応できるように努めている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	6		現在、医療的ケアが必要な児童の受け入れを行っていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		頂いた情報などは職員に通達し他事業所との連携できるように今後も努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		情報を提供している。相談支援専門員の方がいる場合は相談員の方とも連携を取れるようにしている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4		研修参加の機会を多く確保していけるように努めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6		感染症対策の考慮もあり機会が少なかった為、予防に努めながら活動機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	5		参加機会を増やしていけるようにしていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	リズム、送迎時等に情報共有を行っている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	4		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	契約の際に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2	送迎時等にご相談を頂く事があるのでお話をしている。	頂いた内容は職員間でも情報を共有しより良い支援をできるように行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	管理者に報告をするよう全職員に通達し、管理者にて対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	年間行事計画書を作成して配布をしている。	感染症防止の為、外出の機会は少なくなっている。事業所内でできるものでは活動を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	個人情報に関して、鍵付き書庫に保管をしている。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6		感染症の影響に伴い、実施する機会が少なかった。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	定期的に避難訓練を実施している。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 31日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0		現在、身体拘束を行っていない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	0	アレルギー表を作成しおやつ提供時に留意している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0		